

NDIS 0605

漏れ試験 (LT)

新規受験申請時の申請条件・訓練実施記録の作成について

《 レベル1・レベル2 》

新規受験申請時に必要となる受験申請条件、訓練実施記録の作成についての手順を Step1～6 で説明します。

Step1 新規受験申請の条件である必要な訓練時間を確認してください。

申請を行う条件としてレベルごとに訓練時間が下表のように規定されています。受験したいLTレベル・要求されている訓練時間を確認し、訓練時間を満足させた訓練実施記録が必要です。

希望する受験レベル	必要な訓練時間	
LTレベル1を受験したい	40時間	
LTレベル2を受験したい	LTレベル1 資格保持者	LTレベル1 非保持者
	83時間	123時間

Step2 訓練を受ける方法として次のパターンがあります。

① 協会や公共団体、その他団体の講習会を受ける

漏れ試験の訓練（講習会）は当協会でも実施しております。協会HPの教育活動・講習会のページで日程、詳細を確認して、お問い合わせください。

【日本非破壊検査協会ホームページ／教育活動・講習会】

<http://www.jsndi.jp/education/index1.html>

他協会、団体にて講習会に参加する場合は、その講習会の主催団体にて、**この要求事項にそった訓練実施記録**を発行してもらってください。

② 社内で訓練を受ける 《 申請者自身による自己学習は訓練として認めません 》

社内訓練とは、社内の訓練者が**訓練シラバス**に基づいて計画的に訓練を実施し、自社で訓練実施記録を作成する場合があります。

③ 他会社の訓練を受ける

他会社の訓練とは、社内に訓練できる技術者がいない場合に、他社の技術者に**訓練シラバス**に基づいた訓練を受ける事が該当します。依頼した訓練者に訓練実施記録を作成してもらってください。

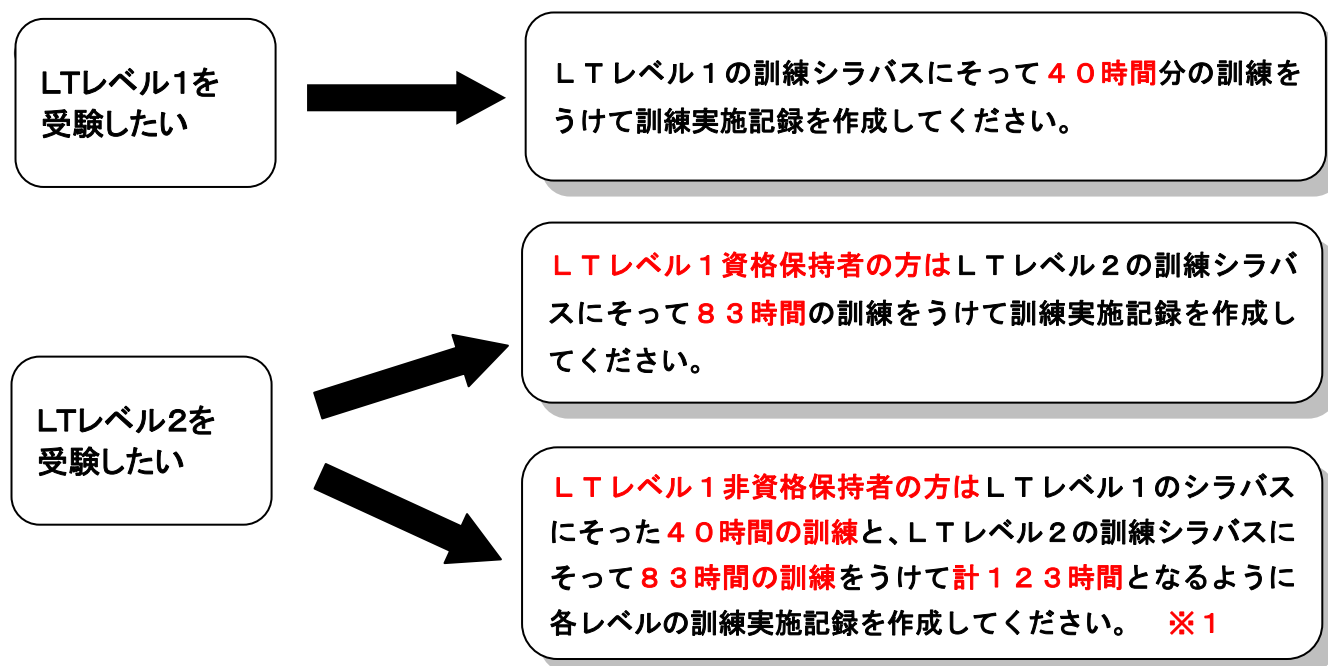
※訓練実施記録の記載例は Page8/12 頁 訓練A（訓練責任者をおいた例）及び Page9/12 頁 訓練B（訓練責任者をおいた例）を参照。

※訓練実施記録用紙、訓練実施記録集計表の用紙は認証事業本部指定の専用の用紙を必ず使ってください。協会HPのNDIS 0605 漏れ試験のページにてダウンロードができます。

Step3 レベルごとの「訓練シラバス」に基づいた訓練を受けてください

LT受験のために受ける訓練は、レベルごとに訓練シラバスが定められており、そのシラバスの内容の訓練を受けてください。**訓練シラバスに記載のない訓練は、要求される訓練時間の対象にはなりませんので**、ご注意ください。シラバスの各項目に規定された「**シラバス参考時間**」を目安に要求された訓練時間を満たすように訓練を受けてください。

※各レベルの訓練シラバスの詳細は、協会 HP の NDIS0605 漏れ試験のページにてご案内しております。



※1 LTレベル2は、LTレベル1に要求される訓練が終了していることが前提ですので、直接レベル2を受験する場合は、LTレベル1のシラバスにそった40時間の訓練実施記録と、LTレベル2のシラバスにそった83時間の、合計123時間分の訓練実施記録が必要です。

訓練者について

訓練者は**相応の技量がある事が要求されますので、LTレベル2以上の有資格者がおこなうことが望ましいですが**、有資格者がいない場合（または、レベル1の有資格者しかいない）「訓練責任者」が「訓練者」について**相応の技術・知識があると判断した場合は**、「訓練責任者」を置いて訓練実施記録を作成してください。記入例は訓練A（訓練責任者をおいた例）Page 8/12 頁を参照

レベル2以上の有資格者がおこなう場合の訓練実施記録の記入例は訓練B（訓練責任者をおかない例）Page 9/12 頁を参照して作成してください。

※訓練者……………相応の技量がある訓練者

※訓練責任者……………訓練者の技量及び申請者が受けたTT訓練について全責任をもてる方

訓練者と訓練責任者の同一人物は認められません。

Step4 訓練実施記録の用意

訓練実施記録は、認証事業本部指定のLT専用の訓練実施記録用紙（LTレベル1用、LTレベル2用）を使い、作成してください。

※記載例は…※

Page8/12 頁 訓練A（訓練責任者をおいた例）を参照

Page9/12 頁 訓練B（訓練責任者をおかない例）を参照

訓練実施記録は、新規受験申請時に必要な添付書類です。申請提出日からさかのぼって5年以内の訓練が有効です。したがって訓練実施記録の中に訓練実施日が5年以上経過したものがあれば、その部分は訓練時間の対象になりません。

訓練実施記録集計表について

同じレベルの訓練を受けて、訓練実施記録が2枚以上になった場合、（例：LTレベル1の訓練を複数の団体や会社で受講したなど）訓練実施記録集計表に訓練実施記録の時間を集計していただき、新規受験申請書、訓練実施記録と共に提出してください。

※記載例は Page7/12 頁 訓練実施記録集計表を利用する を参照※

※訓練実施記録用紙、訓練実施記録集計表の用紙は認証事業本部指定の専用の用紙を必ず使ってください。必要な用紙及び訓練シラバスの詳細は協会 HP の NDIS0605 漏れ試験のページの「<C> 訓練」についてのページからダウンロードができます。

<C> 訓練 にてご案内しているもの

- ・ 訓練実施記録 レベル1用 / レベル2 用
- ・ 訓練実施記録集計表 レベル1用 / レベル2 用
- ・ 訓練シラバス レベル1用 / レベル2 用

※試験日程などの詳細、試験合格後の手続についての詳細は、NDIS 0605 漏れ試験 認証制度のご案内、資格試験案内をご参照ください。

Step5 受験申請書に訓練実施記録を添付してください

訓練実施記録は Step3 で説明のように5年間使用することが出来ますので、受験申請書に訓練実施記録を添付する際は、次の手順で行い、受験申請書に添付してください。

- (1) 訓練実施記録(原本)をコピーする。(原本は手元に保管してください。)
- (2) コピーした訓練実施記録にボールペン等で訓練を受けた者の署名欄に申請者本人が自筆署名のうえ、押印してください。

訓練実施記録原本を新規受験申請書に間違えて添付して提出した場合、**原本の返却はできません**。次回受験申請をする場合には訓練実施先から取り寄せていただく必要があります。訓練実施先によっては再発行に手数料が発生する場合がありますので、取扱にはご注意ください。

拡大部分

NDT 方法・レベル	LT-レベル2
訓練を受けた者の氏名	非破壊 新太郎
訓練を受けた者の署名・押印	印

NDT方法・レベル	LT-レベル2	登録日	2013年7月10日				
訓練を受けた者の氏名	非破壊 新太郎	—受験申請書に添付する書類は、訓練実施記録の原本をコピーした後に、訓練を受けた者の署名欄へ自筆署名(ボールペン等)、押印してください。訓練記録は5年間有効なため、複数回使用できます。					
訓練を受けた者の署名・押印	印						
訓練内容	少時単 時間	累積時間 (標準 月 日)	場所	訓練者氏名	押印	保有資格	登録番号
1. 非破壊試験技術者の役割	0.5	1.0	2013/7/1	圧力容器検査事務所	山下 明		
2. 漏れ試験概要	2.0	2.0	2013/7/1	圧力容器検査事務所	山下 明		
3. 漏れ試験の基礎理論	5.0	5.0	2013/7/1	圧力容器検査事務所	山下 明		
4. 発泡液体漏れ試験方法(含:実技)	5.0	5.0	2013/7/1	圧力容器検査事務所	山下 明		
	4.0	4.0	2013/7/2	圧力容器検査事務所	山下 明		
5. 圧力変化漏れ試験方法(含:実技)	20.0	10.0	2013/7/3	圧力容器検査事務所	山下 明		
		11.0	2013/7/4	圧力容器検査事務所	山下 明		
6. ヘリウム漏れ試験方法(含:実技)	22.0	12.0	2013/7/5	圧力容器検査事務所	山下 明		
		10.0	2013/7/6	圧力容器検査事務所	斉藤 一		
7. その他の漏れ試験方法	15.0	15.0	2013/7/7	圧力容器検査事務所	斉藤 一		
8. 真空利用試験で使用する器材	5.0	5.0	2013/7/8	圧力容器検査事務所	山下 明		
9. 手順書と指示書	3.0	3.0	2013/7/9	圧力容器検査事務所	斉藤 一		
10. 非破壊検査—漏れ試験技術用語	1.5	1.5	2013/7/10	圧力容器検査事務所	斉藤 一		
合計	83.0	84.5時間					
訓練機関名称	圧力容器検査事務所		住所	東京都千代田区神田佐久間河岸67			
訓練責任者	非破壊 三郎	役職	検査管理課 工場長	TEL	03-5821-5104		
				FAX	03-3863-6522		

- (1) 訓練実施記録原本をコピーする。
(まだ署名・押印欄はこの状態です。)



NDT 方法・レベル	LT-レベル2
訓練を受けた者の氏名	非破壊 新太郎
訓練を受けた者の署名・押印	非破壊 新太郎 印

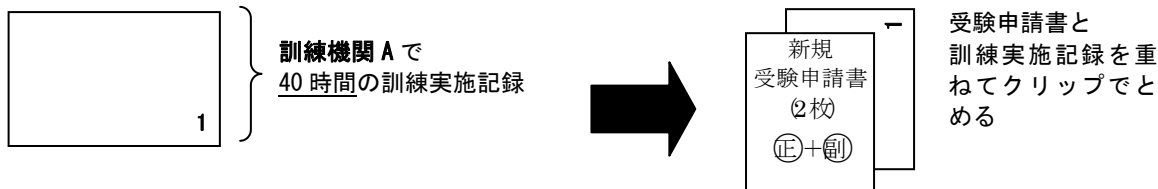
- (2) コピーした方の訓練実施記録にボールペン等で「訓練を受けた者の署名・押印」欄に自筆署名、押印をしてください。

NDT方法・レベル	LT-レベル2	登録日	2013年7月10日				
訓練を受けた者の氏名	非破壊 新太郎	—受験申請書に添付する書類は、訓練実施記録の原本をコピーした後に、訓練を受けた者の署名欄へ自筆署名(ボールペン等)、押印してください。訓練記録は5年間有効なため、複数回使用できます。					
訓練を受けた者の署名・押印	非破壊 新太郎						
訓練内容	少時単 時間	累積時間 (標準 月 日)	場所	訓練者氏名	押印	保有資格	登録番号
1. 非破壊試験技術者の役割	0.5	1.0	2013/7/1	圧力容器検査事務所	山下 明		
2. 漏れ試験概要	2.0	2.0	2013/7/1	圧力容器検査事務所	山下 明		
3. 漏れ試験の基礎理論	5.0	5.0	2013/7/1	圧力容器検査事務所	山下 明		
4. 発泡液体漏れ試験方法(含:実技)	5.0	5.0	2013/7/1	圧力容器検査事務所	山下 明		
	4.0	4.0	2013/7/2	圧力容器検査事務所	山下 明		
5. 圧力変化漏れ試験方法(含:実技)	20.0	10.0	2013/7/3	圧力容器検査事務所	山下 明		
		11.0	2013/7/4	圧力容器検査事務所	山下 明		
6. ヘリウム漏れ試験方法(含:実技)	22.0	12.0	2013/7/5	圧力容器検査事務所	山下 明		
		10.0	2013/7/6	圧力容器検査事務所	斉藤 一		
7. その他の漏れ試験方法	15.0	15.0	2013/7/7	圧力容器検査事務所	斉藤 一		
8. 真空利用試験で使用する器材	5.0	5.0	2013/7/8	圧力容器検査事務所	山下 明		
9. 手順書と指示書	3.0	3.0	2013/7/9	圧力容器検査事務所	斉藤 一		
10. 非破壊検査—漏れ試験技術用語	1.5	1.5	2013/7/10	圧力容器検査事務所	斉藤 一		
合計	83.0	84.5時間					
訓練機関名称	圧力容器検査事務所		住所	東京都千代田区神田佐久間河岸67			
訓練責任者	非破壊 三郎	役職	検査管理課 工場長	TEL	03-5821-5104		
				FAX	03-3863-6522		

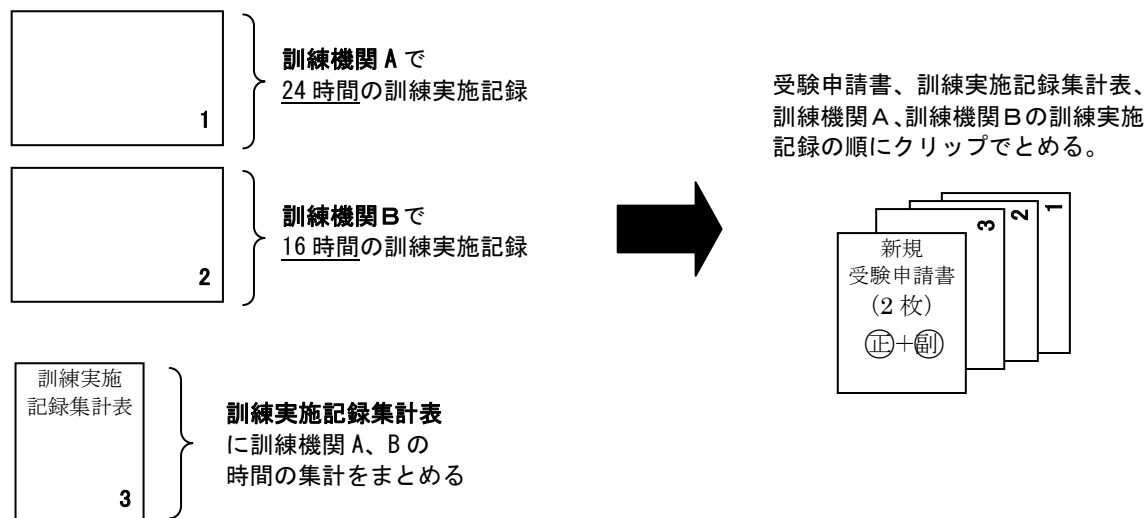
! 完成 !

これで受験申請書に添付する為の訓練実施記録ができました。
 《新規受験申請と訓練実施記録のまとめ方》

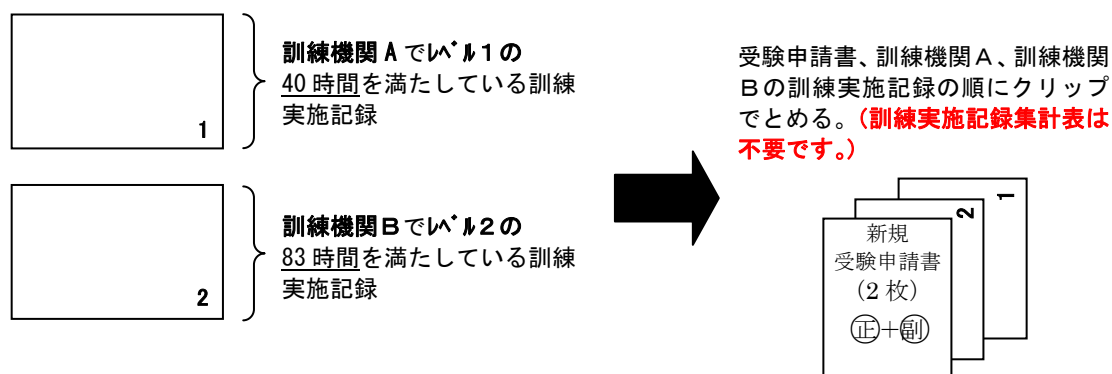
A: 1か所の訓練機関で訓練時間を満足する場合（訓練実施記録が1枚のみの場合）



B: 2か所以上の訓練機関で訓練時間を満足する場合・・・（同じレベルの訓練実施記録が2枚以上ある場合）



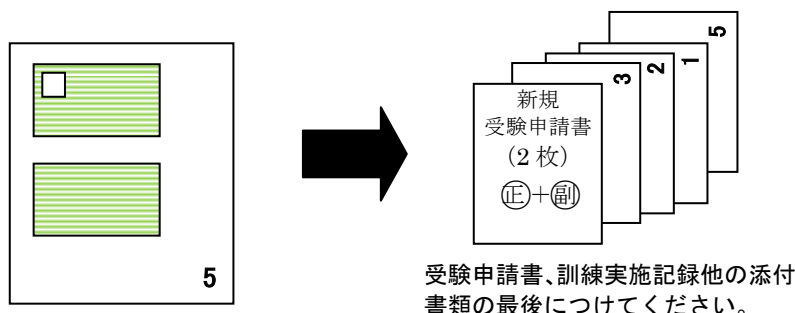
C: LTレベル2を新規受験する場合で、レベル1とレベル2のそれぞれの訓練実施記録で満足する場合



※LTレベル1資格所有者がLTレベル2を受験する場合・・・

A/B/C 共通

(LT2 シラバスの 83 時間
の訓練実施記録が必要です)
 LTレベル1の資格証明書の
 コピーを添付してください
 (両面・白黒コピー可)



LTレベル1の訓練実施記録に代わって、LTレベル1の資格証明書のコピーを添付することも可能です。

Step6 新規受験申請書へ添付した訓練実施記録の訓練内容を入力してください。

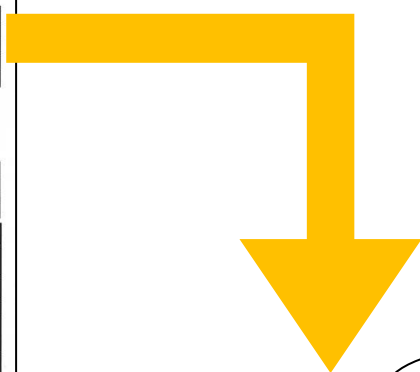
新規受験申請書は協会 HP からダウンロードできます。MS Word 上で申請内容を入力できますので、入力方法等の詳細は漏れ試験新規受験申請書の入力方法をご確認ください。(受験申請書は①、②、③の3枚をプリントして①、②を提出してください。③は受験申請者本人が保管してください。)

(例) 新規受験申請書に **2013年7月1日から2013年7月25日の間に実施した83時間分以上の訓練実施記録が2枚以上添付されている場合。**

<input type="checkbox"/> 申請書用紙 <input checked="" type="checkbox"/> 申請書用紙 <input type="checkbox"/> 受験者用紙		LT	
正 副 控 JNDI 2014年秋期資格試験 用 NDIS 0605 漏れ試験 新規受験申請書			
受験申請日(西暦) 2014年07月29日			
試験種別	レベル	NDT方法①	NDT方法②
10	2	LT	NDT方法③
個人コード P 01234567		性別	1. 男性
勤務先名/フリガナ (勤務先名) 圧力容器検査事務所		生年月日	1970年12月09日
勤務先電話番号 03-5609-4014		都道府県市区郡	東京都江東区
受験者氏名/フリガナ (氏名) 非破壊 新太郎		大字・小字	大子・小字
NAME(ローマ字) HIHAKAI SHINTAROU		FAX番号	03-5609-4062
送付先住所	送付先指定	2	送付先名称 圧力容器検査事務所
	所属部課名	検査部管理課	
	受験者名(又は担当者)	非破壊 新太郎	
	郵便番号 平	136 -- 0071	都道府県市区郡 東京都江東区
	町 村	亀戸	大字・小字 大子・小字
	○丁目○番地	2丁目25-14	駅付(ビル名等) LTビル
電話番号	03-5609-4014	E-mail Address	S-hihakai@youkine.jp
基礎試験合格番号①~③ 基礎試験合格者のみ入力		基礎試験合格有効期限入力(西暦年月日)	
K *****		20 ****	
受験申請した直下位のレベルの認証番号入力		N 1234567	
訓練開始日(西暦) 2013年 07月 01日		訓練終了日(西暦) 2013年 07月 25日	
添付書類枚数 3 枚		合計訓練時間 83 時間	
●LTレベル1及び2受験者は必ず入力 (訓練先ごとにまとめて入力。2か所以上の訓練先で受講、訓練実施記録が複数枚にわたる場合は訓練実施記録集計表も添付すること)			
訓練先名称		訓練実施日(西暦年月日)	延訓練時間
圧力容器検査事務所		2013年07月01日 ~ 2013年07月10日	40.5 時間
●●訓練センター		2013年07月15日 ~ 2013年07月16日	3.0 時間
日本非破壊検査協会		2013年07月21日 ~ 2013年07月25日	40 時間
年月日 ~ 年月日		時間	
<input checked="" type="checkbox"/> 訓練実施記録集計表有り		合計訓練時間	83.5 時間
		添付書類合計枚数	4 枚
訓練実施記録集計表がある場合はそれも含めた枚数			
●LTレベル2受験者のみ入力(該当する欄の□に×を入力して下さい)			
<input type="checkbox"/> 個人的学習(その学習に使用した参考書名、発行社名を記載した証明書)			
<input type="checkbox"/> 研究・論文発表(その発表を行った場(主催団体名、発表者名)とそのタイトルを記載された証明書)			
<input type="checkbox"/> 書籍・解説等の執筆(その執筆した書籍名、発行社名、タイトル等を記載した証明書)			
<input type="checkbox"/> 講演会、セミナーなどに参加(主催した団体名と会議名又はセミナー名を記載した証明書)			
本受験申請書の記載内容に相違ないことを証明します。			
雇用責任者名	非破壊 三郎	証明日(西暦)	2014年07月29日
勤務先名	圧力容器検査事務所		
所属部課・役職	検査管理課 工場長		
勤務先住所	〒136-0071 東京都江東区亀戸2丁目25-14 LTビル		
TEL/FAX	TEL: 03-5609-4014 FAX: 03-5609-4062		

それぞれの訓練実施記録の訓練先名称、訓練実施日、延訓練時間を入力してください。

※訓練先名称とは訓練を行った機関や会社名を指します。「〇〇鉄工所内研修所」や「▲▲ビル土木現場」等の訓練実施場所ではありませんのでご注意ください。



拡大部分

●LTレベル1及び2受験者は必ず入力
(訓練先ごとにまとめて入力。2か所以上の訓練先で受講、訓練実施記録が複数枚にわたる場合は訓練実施記録集計表も添付すること)

訓練先名称	訓練実施日(西暦年月日)	延訓練時間	書類No.
圧力容器検査事務所	2013年07月01日 ~ 2013年07月10日	40.5 時間	1
●●訓練センター	2013年07月15日 ~ 2013年07月16日	3.0 時間	2
日本非破壊検査協会	2013年07月21日 ~ 2013年07月25日	40 時間	3
	年月日 ~ 年月日	時間	
	合計訓練時間	83.5 時間	
<input checked="" type="checkbox"/> 訓練実施記録集計表有り	添付書類合計枚数	4 枚	
	訓練実施記録集計表がある場合はそれも含めた枚数		

この例のように**同じレベルの訓練実施記録が2枚以上となっている場合**、訓練実施記録とは別に**訓練実施記録集計表**を添付する必要があります。
(□にチェックを入れてください。)

● 訓練実施記録集計表を利用する ●

同じレベルの訓練を、複数の訓練機関で受けるなど、訓練実施記録が2枚以上になった場合は、訓練実施記録の時間の集計を訓練実施記録集計表にまとめて受験申請書、訓練実施記録と共に提出してください。

漏れ試験 レベル2 訓練実施記録集計表			
NDT方法・レベル		LT-レベル2	
訓練を受けた者の氏名		非破壊 新太郎	
訓練を受けた者の署名・押印		非破壊 新太郎	
<small>・複数の訓練機関の訓練実施記録を提出する場合は、本書に纏めてください。 ・本書を使用する場合は、訓練を受けた者の署名・押印及び雇用責任者の証明欄への記載・署名・押印が必要です。</small>			
訓練内容	シラバス参考時間	実績時間	訓練機関名称
1. 非破壊試験技術者の役割	0.5	1	圧力容器検査事務所
2. 漏れ試験概要	2.0	3	圧力容器検査事務所
			●●訓練センター
3. 漏れ試験の基礎概論	5.0	5	圧力容器検査事務所
			●●訓練センター
			日本非破壊検査協会
4. 発泡、漏れ試験方法(含:実技)	9.0	9	圧力容器検査事務所
5. 圧力変化漏れ試験方法(含:実技)	20.0	20	圧力容器検査事務所
			●●訓練センター
6. ヘリウム漏れ試験方法(含:実技)	22.0	21	圧力容器検査事務所
			●●訓練センター
7. その他の漏れ試験方法	15.0	15	圧力容器検査事務所
8. 真空利用試験で使用される機材	5.0	5	圧力容器検査事務所
			●●訓練センター
9. 手順書と指示書	3.0	3	圧力容器検査事務所
10. 非破壊検査-漏れ試験技術用語	1.5	1.5	圧力容器検査事務所
実績合計		83.5	時間

◆ 雇用責任者証明欄 ◆	
雇用責任者名: 非破壊 三郎	所在地: 〒101-0026
勤務先名: 圧力容器検査事務所	東京都千代田区神田佐久間河岸67
所属: 検査管理課	電話番号: 03-5821-5104
役職: 工場長	FAX番号: 03-3863-6522

・複数の団体に講習会を受ける等、訓練実施記録が2枚以上になる時は、各訓練の時間の合計を集計表にまとめて、受験申請書、訓練実施記録と共に提出して下さい。
 ・LTレベル2受験に必要な訓練時間は、レベル1資格所有者は83時間、レベル1資格非所有者はLTレベル1の40時間。


- ① 訓練を受けた者の自筆署名、押印をする。
 - ② 2か所の訓練機関で受けた訓練時間の合計時間を入力
 - ③ それぞれの訓練機関の名称を入力
 - ④ 実績合計時間を確認し、訓練時間が満足しているか再度確認する
 - ⑤ 雇用責任者の証明欄(勤務先等署名、押印)を記入
- ※雇用責任者とは、申請者が日常働いている組織体の責任者、又はその責任者により業務を委任されている代理者です。

●訓練A (訓練責任者を置いた場合) の作成例

※例：LTレベル2の訓練を受け、83時間以上の訓練実施記録の場合…※

シラバス参考時間を目安に
要求される訓練時間を満足
させてください

漏れ試験 レベル2 訓練実施記録


NDT方法・レベル	LT-レベル2	証明日
訓練を受けた者の氏名	非破壊 新太郎	2013年7月10日
訓練を受けた者の署名・押印	非破壊 新太郎 	←受験申請書に添付する書類は、訓練実施記録の原本をコピーした後に、訓練を受けた者の署名欄へ自筆署名(ボールペン等)、押印してください。訓練記録は5年間有効なため、複数回使用できます。

訓練内容	シラバス参考時間	実績時間	実施日 (西暦.月.日)	場所	訓練者氏名	押印	保有資格	認証番号
1. 非破壊試験技術者の役割	0.5	1.0	2013/7/1	圧力容器検査事務所	山下 明			
2. 漏れ試験概要	2.0	2.0	2013/7/1	圧力容器検査事務所	山下 明			
3. 漏れ試験の基礎理論	5.0	5.0	2013/7/1	圧力容器検査事務所	山下 明			
4. 発泡液体漏れ試験方法(含:実技)	9.0	5.0	2013/7/1	圧力容器検査事務所	山下 明			
		4.0	2013/7/2	圧力容器検査事務所	山下 明			
5. 圧力変化漏れ試験方法(含:実技)	20.0	10.0	2013/7/3	圧力容器検査事務所	山下 明			
		11.0	2013/7/4	圧力容器検査事務所	山下 明			
6. ヘリウム漏れ試験方法(含:実技)	10.0	12.0	2013/7/5	圧力容器検査事務所	山下 明			
		10.0	2013/7/6	圧力容器検査事務所	斉藤 一			
7. その他の漏れ試験方法	5.0	15.0	2013/7/7	圧力容器検査事務所	斉藤 一			
8. 真空利用試験で使用される機材	5.0	5.0	2013/7/8	圧力容器検査事務所	山下 明			
9. 手順書と指示書	3.0	3.0	2013/7/9	圧力容器検査事務所	斉藤 一			
10. 非破壊検査-漏れ試験技	1.5	1.5	2013/7/10	圧力容器検査事務所	斉藤 一			

実際に行われた訓練時間を入力してください。

84.5時間

この訓練において全責任をもつ訓練責任者を置いた場合、この訓練Aのパターンになります。


訓練機関名称	圧力容器検査事務所	住所	東京都千代田区神田佐久間河岸67
訓練責任者	非破壊 三郎 	役職	検査管理課 工場長
		TEL	03-5821-5104
		FAX	03-3863-6522




●訓練B (訓練責任者を置かない場合)の作成例

※例：LTレベル2以上の有資格者(訓練者)が訓練をおこなった場合※

訓練者(LTレベル2以上の有資格者)の氏名、押印、保有資格、認証番号を記載する。

漏れ試験 レベル1 訓練実施記録

NDT方法・レベル	LT-レベル1	証明日	2013年7月17日
訓練を受けた者の氏名	非破壊 新太郎	←受験申請書に添付する書類は、訓練実施記録の原本をコピーした後に、訓練を受けた者の署名欄へ自筆署名(ボールペン等)、押印してください。訓練記録は5年有効なため、複数回使用できます。	
訓練を受けた者の署名・押印	非破壊 新太郎 		

訓練内容	シフト参考時間	実績時間	実施日(西暦.月.日)	場所	訓練者氏名	押印	保有資格	認証番号
1. 非破壊試験技術者の役割	0.5	0.5	2013/7/15	●●訓練センター	森山 真一		LTレベル2	N00000000
2. 漏れ試験概要	1.5	1.5	2013/7/15	●●訓練センター	森山 真一		LTレベル2	N00000000
3. 漏れ試験の基礎理論	2.0	3.0	2013/7/15	●●訓練センター	森山 真一		LTレベル2	N00000000
4. 発泡液体漏れ試験方法(含:実技)	6.0	6.0	2013/7/16	●●訓練センター	森山 真一		LTレベル2	N00000000
							LTレベル2	N00000000
5. 圧力変化漏れ試験方法(含:実技)	8.0	8.0	2013/7/17	●●訓練センター	森山 真一		LTレベル2	N00000000
							LTレベル2	N00000000
6. ヘリウム漏れ試験方法(含:実技)	5.0	5.0	2013/7/18	●●訓練センター	森山 真一		LTレベル2	N00000000
		5.0	2013/7/19	●●訓練センター	森山 真一		LTレベル2	N00000000
7. その他の漏れ試験方法	9.0	9.0	2013/7/20	●●訓練センター	森山 真一		LTレベル2	N00000000
8. 真空利用試験で使用される機	2.0	2.0	2013/7/21	●●訓練センター	森山 真一		LTレベル2	N00000000
9. 非破壊検査-漏れ試験技術	1.0	1.0	2013/7/22	●●訓練センター	森山 真一		LTレベル2	N00000000
		41.0	時間					

実際に行われた訓練時間を入力してください。

訓練	
訓練責任者	

訓練者の押印は必ず全ての訓練内容毎に押印してください。押印が無い場合は、LT2の有資格者であっても訓練実施記録は訓練Aの記載方法で作成してください。

◆ 訓練時間を満たすために…よくある問い合わせ

質問事例	回 答	参 考
<p>訓練シラバスのうち、ひとつの訓練シラバスの項目を受けていませんでした。他の訓練シラバス項目で訓練時間をおぎなう事は可能ですか？</p>	<p>訓練シラバスは必ずすべての項目を受けてください。「シラバス参考時間」を目安に、受験資格として要求されている訓練時間を満たすようにしてください。</p>	<p>Page1/12 頁～Page2/12 頁 Step2 「訓練を受ける方法として次のパターンがあります。」 Step3 「レベルごとの「訓練シラバス」に基づいた訓練を受けてください」を参照</p>
<p>LT レベル2を直接受験したいのですが、LT レベル2の訓練シラバスを 120 時間分受ければいいのですか？</p>	<p>LT では、各レベルに訓練シラバス、訓練時間が決められています。 LT レベル2は、LT レベル1 に要求される訓練が終了していることが前提ですので、直接レベル2を受験する場合は、LT レベル1 のシラバスにそった40時間の訓練実施記録と、LT レベル2のシラバスにそった83時間の、合計123時間分の訓練実施記録が必要です。</p>	<p>Page1/12 頁～2/12 頁 Step1 「新規受験申請の条件である必要な訓練時間を確認してください。」 Step2 「訓練を受ける方法として次のパターンがあります。」 Step3 「レベルごとの「訓練シラバス」に基づいた訓練を受けてください。」を参照</p>
<p>LT レベル2を受験するため、LT レベル1の訓練実施記録とLT レベル2の訓練実施記録2枚用意できました。複数枚あるということで訓練実施記録集計表を利用しないといけないのですか？</p>	<p>訓練実施記録集計表は、同じレベルの訓練を複数箇所の訓練団体から受けて、訓練実施記録が2枚以上になった場合に必要になります。</p>	<p>Page7/12 頁 「訓練実施記録集計表を利用する」を参照</p>
<p>その他団体の講習会に参加しました。JSNDI 指定の訓練実施記録様式とは違う証明書類をもらいましたが、この書類でも認められますか？</p>	<p>訓練実施記録は「JSNDI 認証事業本部指定」のものになります。 また、講習会のコースによっては、LT 試験対策用ではないコースの可能性も考えられますので、必ず事前に主催団体にお問い合わせされる事をおすすめいたします。</p>	

《 受験申請時の提出書類参考例 》

1か所の訓練機関で受けるなど訓練実施記録が1枚で訓練時間を満足する場合…(例:LTレベル1)

新規受験申請書 (正・副)

新規受験申請書 (正・副)



実施機関	実施日時	実施時間	実施内容	実施結果	実施機関	実施日時	実施時間	実施内容	実施結果
1. 訓練実施機関(1)	2023/7/15	40.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル1	●訓練センター	岡山 第一
2. 訓練実施機関(2)	2023/7/15	1.5	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル1	●訓練センター	岡山 第一
3. 訓練実施機関(3)	2023/7/15	2.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル1	●訓練センター	岡山 第一
4. 訓練実施機関(4)	2023/7/16	6.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル1	●訓練センター	岡山 第一
5. 訓練実施機関(5)	2023/7/17	8.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル1	●訓練センター	岡山 第一
6. 訓練実施機関(6)	2023/7/18	5.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル1	●訓練センター	岡山 第一
7. 訓練実施機関(7)	2023/7/20	9.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル1	●訓練センター	岡山 第一
8. 訓練実施機関(8)	2023/7/21	2.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル1	●訓練センター	岡山 第一
9. 訓練実施機関(9)	2023/7/22	1.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル1	●訓練センター	岡山 第一
合計		40.0							

40時間分の(レベル1)訓練実施記録

※訓練実施記録が1枚ですむ場合は、**訓練実施記録集計表は不要です。**

複数の訓練機関で受けるなど訓練実施記録が2枚以上で訓練時間を満足する場合…(例:LTレベル2)

新規受験申請書 (正・副)

新規受験申請書 (正・副)



実施機関	実施日時	実施時間	実施内容	実施結果	実施機関	実施日時	実施時間	実施内容	実施結果
1. 訓練実施機関(1)	2023/7/15	26.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル2	●訓練センター	岡山 第一
2. 訓練実施機関(2)	2023/7/15	5.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル2	●訓練センター	岡山 第一
3. 訓練実施機関(3)	2023/7/16	4.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル2	●訓練センター	岡山 第一
4. 訓練実施機関(4)	2023/7/17	11.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル2	●訓練センター	岡山 第一
5. 訓練実施機関(5)	2023/7/18	12.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル2	●訓練センター	岡山 第一
6. 訓練実施機関(6)	2023/7/19	10.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル2	●訓練センター	岡山 第一
7. 訓練実施機関(7)	2023/7/20	10.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル2	●訓練センター	岡山 第一
8. 訓練実施機関(8)	2023/7/21	1.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル2	●訓練センター	岡山 第一
9. 訓練実施機関(9)	2023/7/22	1.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル2	●訓練センター	岡山 第一
合計		83.0							

26時間分と58時間分の(レベル2)訓練実施記録が2枚



実施機関	実施日時	実施時間	実施内容	実施結果	実施機関	実施日時	実施時間	実施内容	実施結果
1. 訓練実施機関(1)	2023/7/15	26.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル2	●訓練センター	岡山 第一
2. 訓練実施機関(2)	2023/7/15	5.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル2	●訓練センター	岡山 第一
3. 訓練実施機関(3)	2023/7/16	4.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル2	●訓練センター	岡山 第一
4. 訓練実施機関(4)	2023/7/17	11.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル2	●訓練センター	岡山 第一
5. 訓練実施機関(5)	2023/7/18	12.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル2	●訓練センター	岡山 第一
6. 訓練実施機関(6)	2023/7/19	10.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル2	●訓練センター	岡山 第一
7. 訓練実施機関(7)	2023/7/20	10.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル2	●訓練センター	岡山 第一
8. 訓練実施機関(8)	2023/7/21	1.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル2	●訓練センター	岡山 第一
9. 訓練実施機関(9)	2023/7/22	1.0	選別試験	合格	●訓練センター	岡山 第一	LTレベル2	●訓練センター	岡山 第一
合計		83.0							

訓練実施記録集計表(レベル2)

※レベル2の分の訓練実施記録の時間の集計をまとめてください。

40時間分の(レベル1)訓練実施記録

LTLレベル1(40時間分)の訓練実施記録と、LTLレベル2の訓練実施記録(83時間分)で訓練時間が満足する場合は、訓練実施記録集計表の提出は不要です。

《 受験申請時の提出書類参考例：LTレベル1 資格所有者の方 》

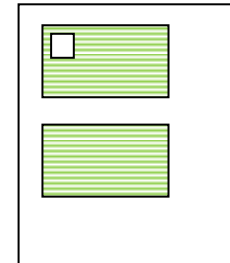
LTレベル2の訓練を1か所の訓練機関で受けるなど訓練実施記録が1枚で訓練時間を満足する場合

新規受験申請書 (正・副)



訓練項目	達成率	認定率	備考	訓練機関	訓練年度
1. 基礎訓練(基礎科目)	0.5	1.0	2023/7/1	正 地方労働委員会	1377 青
2. 漏れ試験の基礎訓練	2.0	2.0	2023/7/1	正 地方労働委員会	1377 青
3. 漏れ試験の基礎訓練	5.0	5.0	2023/7/1	正 地方労働委員会	1377 青
4. 漏れ試験の基礎訓練(方法)	9.0	9.0	2023/7/1	正 地方労働委員会	1377 青
5. 漏れ試験の基礎訓練(方法)	13.0	13.0	2023/7/2	正 地方労働委員会	1377 青
6. 漏れ試験の基礎訓練(方法)	20.0	19.0	2023/7/2	正 地方労働委員会	1377 青
7. 漏れ試験の基礎訓練(方法)	25.0	19.0	2023/7/4	正 地方労働委員会	1377 青
8. ハードウェア訓練(方法)	22.0	10.0	2023/7/5	正 地方労働委員会	1377 青
9. ハードウェア訓練(方法)	15.0	15.0	2023/7/7	正 地方労働委員会	1377 青
10. ハードウェア訓練(方法)	5.0	5.0	2023/7/9	正 地方労働委員会	1377 青
11. ハードウェア訓練(方法)	3.0	3.0	2023/7/9	正 地方労働委員会	1377 青
12. ハードウェア訓練(方法)	1.5	1.5	2023/7/9	正 地方労働委員会	1377 青
合計	83.0	83.0			

83 時間分の(レベル2)訓練実施記録



LTレベル1の資格証明書コピー (両面・白黒可)

※訓練実施記録が1枚ですむ場合は、**訓練実施記録集計表は不要です。**

LTレベル2の訓練を複数の訓練機関で受けるなど訓練実施記録が2枚以上で訓練時間を満足する場合

新規受験申請書 (正・副)



訓練項目	達成率	認定率	備考	訓練機関	訓練年度
1. 基礎訓練(基礎科目)	0.5	1.0	2023/7/1	正 地方労働委員会	1377 青
2. 漏れ試験の基礎訓練	5.0	5.0	2023/7/1	正 地方労働委員会	1377 青
3. 漏れ試験の基礎訓練	5.0	5.0	2023/7/1	正 地方労働委員会	1377 青
4. 漏れ試験の基礎訓練(方法)	9.0	9.0	2023/7/1	正 地方労働委員会	1377 青
5. 漏れ試験の基礎訓練(方法)	13.0	13.0	2023/7/2	正 地方労働委員会	1377 青
6. 漏れ試験の基礎訓練(方法)	20.0	19.0	2023/7/2	正 地方労働委員会	1377 青
7. 漏れ試験の基礎訓練(方法)	25.0	19.0	2023/7/4	正 地方労働委員会	1377 青
8. ハードウェア訓練(方法)	22.0	10.0	2023/7/5	正 地方労働委員会	1377 青
9. ハードウェア訓練(方法)	15.0	15.0	2023/7/7	正 地方労働委員会	1377 青
10. ハードウェア訓練(方法)	5.0	5.0	2023/7/9	正 地方労働委員会	1377 青
11. ハードウェア訓練(方法)	3.0	3.0	2023/7/9	正 地方労働委員会	1377 青
12. ハードウェア訓練(方法)	1.5	1.5	2023/7/9	正 地方労働委員会	1377 青
合計	83.0	83.0			

26 時間分の(レベル2)訓練実施記録

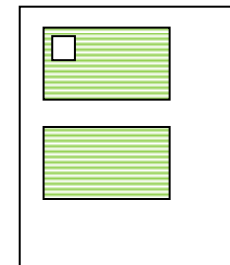


訓練項目	達成率	認定率	備考	訓練機関	訓練年度
1. 基礎訓練(基礎科目)	0.5	1.0	2023/7/1	正 地方労働委員会	1377 青
2. 漏れ試験の基礎訓練	5.0	5.0	2023/7/1	正 地方労働委員会	1377 青
3. 漏れ試験の基礎訓練	5.0	5.0	2023/7/1	正 地方労働委員会	1377 青
4. 漏れ試験の基礎訓練(方法)	9.0	9.0	2023/7/1	正 地方労働委員会	1377 青
5. 漏れ試験の基礎訓練(方法)	13.0	13.0	2023/7/2	正 地方労働委員会	1377 青
6. 漏れ試験の基礎訓練(方法)	20.0	19.0	2023/7/2	正 地方労働委員会	1377 青
7. 漏れ試験の基礎訓練(方法)	25.0	19.0	2023/7/4	正 地方労働委員会	1377 青
8. ハードウェア訓練(方法)	22.0	10.0	2023/7/5	正 地方労働委員会	1377 青
9. ハードウェア訓練(方法)	15.0	15.0	2023/7/7	正 地方労働委員会	1377 青
10. ハードウェア訓練(方法)	5.0	5.0	2023/7/9	正 地方労働委員会	1377 青
11. ハードウェア訓練(方法)	3.0	3.0	2023/7/9	正 地方労働委員会	1377 青
12. ハードウェア訓練(方法)	1.5	1.5	2023/7/9	正 地方労働委員会	1377 青
合計	83.0	83.0			

58 時間分の(レベル2)訓練実施記録

訓練項目	達成率	認定率	備考	訓練機関	訓練年度
1. 基礎訓練(基礎科目)	0.5	1.0	2023/7/1	正 地方労働委員会	1377 青
2. 漏れ試験の基礎訓練	5.0	5.0	2023/7/1	正 地方労働委員会	1377 青
3. 漏れ試験の基礎訓練	5.0	5.0	2023/7/1	正 地方労働委員会	1377 青
4. 漏れ試験の基礎訓練(方法)	9.0	9.0	2023/7/1	正 地方労働委員会	1377 青
5. 漏れ試験の基礎訓練(方法)	13.0	13.0	2023/7/2	正 地方労働委員会	1377 青
6. 漏れ試験の基礎訓練(方法)	20.0	19.0	2023/7/2	正 地方労働委員会	1377 青
7. 漏れ試験の基礎訓練(方法)	25.0	19.0	2023/7/4	正 地方労働委員会	1377 青
8. ハードウェア訓練(方法)	22.0	10.0	2023/7/5	正 地方労働委員会	1377 青
9. ハードウェア訓練(方法)	15.0	15.0	2023/7/7	正 地方労働委員会	1377 青
10. ハードウェア訓練(方法)	5.0	5.0	2023/7/9	正 地方労働委員会	1377 青
11. ハードウェア訓練(方法)	3.0	3.0	2023/7/9	正 地方労働委員会	1377 青
12. ハードウェア訓練(方法)	1.5	1.5	2023/7/9	正 地方労働委員会	1377 青
合計	83.0	83.0			

訓練実施記録集計表(レベル2)



LTレベル1の資格証明書コピー (両面・白黒可)

※訓練実施記録の時間の集計をまとめてください。